

# 企画県土警察常任委員会資料

(平成24年8月21日)

[件名]

- 犯罪抑止総合対策の推進状況について（平成24年上半期） ..... 1  
(生活安全部)
- 警察安全相談の受理状況について（平成24年上半期） ..... 2  
(生活安全部生活安全企画課)
- 交通事故発生状況について（平成24年上半期） ..... 3  
(交通部交通企画課)

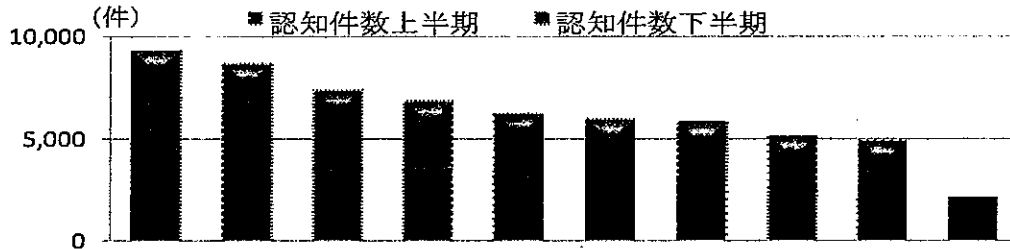
警 察 本 部

## 犯罪抑止総合対策の推進状況について（平成24年上半期）

平成24年8月21日  
警察本部  
(生活安全部)

### 1 刑法犯認知件数の状況

- 最多であった平成15年上半期(4,515件)の47.2%(2,131件)まで減少
- 前年上半期に比べ228件減少



区分	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
認知件数上半期	4,515	4,379	3,510	3,589	3,157	2,861	2,881	2,428	2,359	2,131
年間認知件数	9,302	8,688	7,382	6,838	6,261	6,005	5,845	5,189	4,941	—

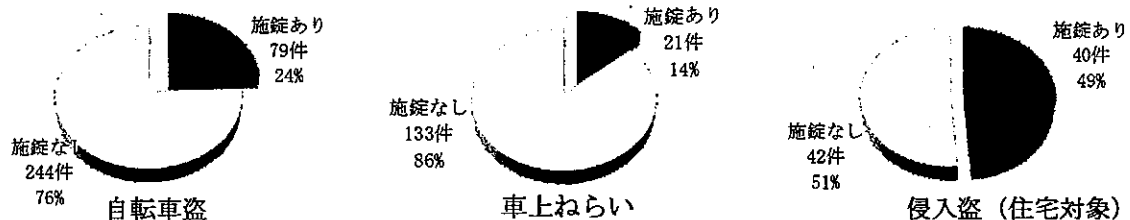
### 2 抑止重点対象罪種認知件数の状況

区分	認知件数総	計	重点罪種					準重点罪種		
			自転車盗	車上ねらい	自販ねらい	性的犯罪	侵入窃盗	振り込め詐欺	器物損壊	万引き
平24	2,131	1,268	323	154	19	9	229	8	198	328
平23	2,359	1,547	526	198	25	6	218	7	240	327
増減	-228	-279	-203	-44	-6	3	11	1	-42	1
率%	-9.7	-18.0	-38.6	-22.2	-24.0	50.0	5.0	14.3	-17.5	0.3

- 指定罪種認知総件数は減少  
抑止の重点としている指定罪種（重点・準重点罪種）の認知総件数は1,268件と、前年上半期に比べ279件(18.0%)減少  
指定罪種の認知総件数1,268件は刑法犯全体の認知件数の59.5%
- 特に自転車盗、車上ねらい、器物損壊が減少  
自転車盗は323件と、前年上半期に比べ203件(38.6%)減少、車上ねらいは154件と、前年上半期に比べ44件(22.2%)減少、器物損壊は198件と、前年上半期に比べ42件(17.5%)減少
- 自転車盗、車上ねらいでは、施錠なしの被害の割合が高い

区分	総数	施錠あり	施錠なし	全国平均施錠なし
自転車盗	323	79 (24.4%)	244 (75.5%)	56.2%
車上ねらい	154	21 (13.6%)	133 (86.4%)	38.6%
侵入窃盗(住宅対象)	82	40 (48.8%)	42 (51.2%)	44.3%

注：侵入窃盗は、住宅対象82件を対象とした。



- 振り込め詐欺が増加  
振り込め詐欺は8件と、前年上半期に比べ1件(14.3%)増加

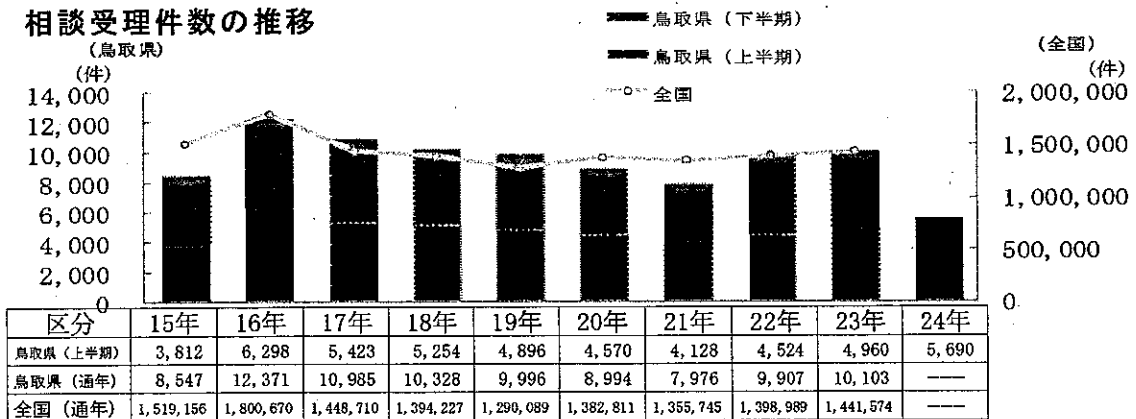
### 3 下半期に向けた抑止対策の推進事項

- 地域の犯罪情勢に即した効果的な犯罪抑止対策
- 鍵かけの広報啓発活動
- 公共空間等における防犯カメラの設置拡充
- 自主防犯意識の向上と防犯ボランティアの活性化
- 継続的な振り込め詐欺被害防止対策

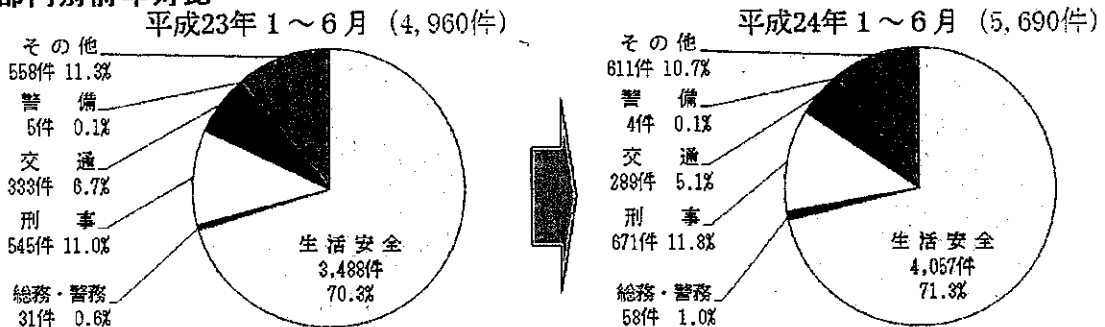
警察安全相談の受理状況について（平成24年上半期）-

平成24年8月21日  
警察本部  
(生活安全部生活安全企画課)

1 相談受理件数の推移



2 部門別前年対比



相談内容 主な内訳	年	1～6月				前年対比
		平成23年		平成24年		
		件数	比率	件数	比率	
生活安全		3,488	70.3%	4,057	71.3%	569
犯罪等の被害防止		1,020	20.6%	1,227	21.6%	207
家事問題		659	13.3%	773	13.6%	114
契約・取引		402	8.1%	486	8.5%	84
DV		99	2.0%	127	2.2%	28
ストーカー		35	0.7%	70	1.2%	35
総務・警務		31	0.6%	58	1.0%	27
刑事		545	11.0%	671	11.8%	126
刑事事件		498	10.0%	601	10.6%	103
振り込め詐欺		53	1.1%	179	3.1%	126
暴力団関係		10	0.2%	26	0.5%	16
交通		333	6.7%	289	5.1%	-44
指導取締り		175	3.5%	153	2.7%	-22
交通事故		43	0.9%	36	0.6%	-7
警備		5	0.1%	4	0.1%	-1
その他		558	11.3%	611	10.7%	53
合計		4,960	100.0%	5,690	100.0%	730

※ 特徴

- 平成16年をピークに相談件数が減少傾向にあったが、平成22年以降は増加傾向
- 警ら要望、家事問題、ストーカー、DV等生活安全に関する相談が増加（前年同期比+16.3%）
- 振り込め詐欺に関する相談が急増（前年同期比+237.7%）

3 今後の取組

- 相談受理担当者の対応能力の向上（巡回指導、警察安全相談専科の実施等）
- 関係機関・団体等との連携強化と確実な引継ぎ
- 安心して相談できる環境づくり

# 交通事故発生状況について（平成 24 年上半期）

平成 24 年 8 月 21 日  
警 察 本 部  
(交通部交通企画課)

## 1 発生状況

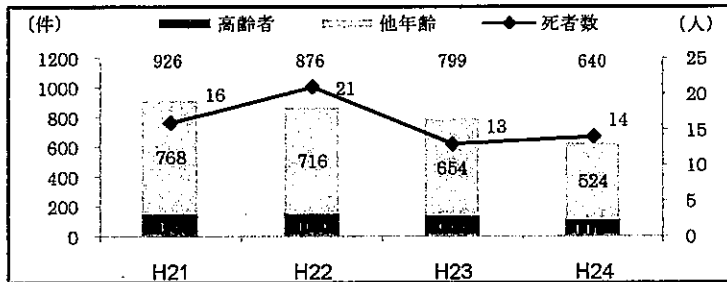
(1) 県下の状況

	発生件数	死者数	負傷者数
平成24年	640	14	753
平成23年	799	13	992
増減数	-159	1	-239
増減率	-19.9	7.7	-24.1

(2) 全国・中国管区の死者数

	全 国	中国管区
平成24年	1,934	161
平成23年	2,112	153
増減数	-178	8
増減率	-8.4	5.2

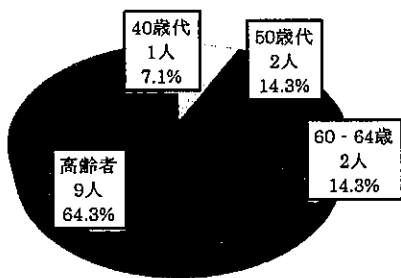
## 2 発生件数及び死者数の推移



- 発生件数は減少傾向で推移
- 高齢者が第1当事者の構成率は H23、H24とも18.1%

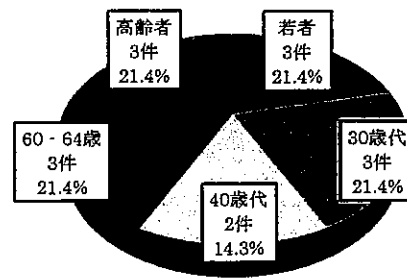
## 3 交通死亡事故の特徴

(1) 死者の年齢層別



- 高齢者の死者が高率

(2) 第1当事者の年齢層別



- 第1当事者は幅広い年齢層

## 4 下半期の交通死亡事故抑止対策

### (1) 高齢者安全対策

被害・加害両面からの高齢者安全対策の推進

### (2) 通学路安全対策

通学路の安全の確保に向け、教育委員会、道路管理者等と連携した安全対策の推進

### (3) 交通指導取締りの強化

重大事故に直結する悪質・危険な交通違反取締りの強化

### (4) 関係機関・団体との連携の強化

自治体・交通関係団体との連携を密にした広報啓発活動の推進